

## 茨城県医師確保計画 骨子案

## 1. 計画の基本的な考え方

## (1) 策定の趣旨

- ・我が国の人口構造の変化，高齢化の進展
- ・国の医師需給推計と地域における医師不足・偏在
- ・国の医療提供体制改革（地域医療構想，医師の働き方改革，医師偏在対策）
- ・医療法等の改正と医師確保計画の策定

## (2) 計画の性格

- ・医療法及び第7次茨城県保健医療計画における位置づけ，県総合計画等の調和

## (3) 計画期間

- ・R2年度～R5年度

## (4) 計画の全体像（図）

- ・計画の構成と2036年（全国の医師需給均衡）までのロードマップ

## 2. 本県の現状と課題

## (1) 医師数の推移（人口10万人対医師数）

## (2) 医師偏在指標

- ・医師偏在指標の算定方法と計画における位置づけ
- ・医師偏在指標（都道府県，県内二次医療圏）

## (3) 診療科別の医師数（全国，県全体，二次医療圏）

## (4) 二次医療圏の医療機能と受療動向

## 3. 医師多数都道府県及び医師少数都道府県，医師多数区域及び医師少数区域

## 4. 医師確保の方針と目標医師数

## (1) 医師確保の方針と重点化の視点

## 医師確保の方針

県	・本県は医師少数県であることから，県全体の医師の増加を図る。
二次医療圏	・本県は医師少数県であることから，全ての二次医療圏において，医師の増加を図る。 ・ただし，医師少数区域以外の区域については，他の二次医療圏からの積極的な医師確保は行わないこととし，さらに，医師多数区域は医師少数区域への医師派遣を行うことが求められる。

## 医師確保の重点化の視点

## (2) 目標医師数

## 目標医師数の考え方

- ・目標医師数の算定方法（下位33%）
- ・医師少数区域以外の目標医師数の考え方

## 目標医師数（県全体，二次医療圏）

## 5. 目標医師数を達成するための施策

- ・医師の確保にあたっては，計画期間の目標達成に資する短期的に効果が得られる施策と，2036

年時点における必要医師数の確保を見据えた長期的な施策に取り組む。

短期：医師の派遣調整，キャリア形成プログラムの策定・運用，寄附講座の設置など

長期：医学部における地域枠・地元出身者枠の設定など

(1) 医師の派遣調整

県内における医師の配置調整

・地域医療対策協議会，地域医療支援センター，各大学により，実効性のある医師の配置調整スキームを確立する。

医師多数都道府県への医師の派遣要請等（県外からの医師確保）

(2) キャリア形成プログラム

・「医師少数区域における医師の確保」及び「医師不足地域に派遣される医師の能力開発・向上の機会の確保」の両立を目的としたキャリア形成プログラムを策定・運用する。

・また，キャリア形成プログラムによる医師の養成課程を通じ，診療科の偏在解消を図る。

(3) 医学部における地域枠・地元出身者枠の設定

将来時点における必要医師数と医師供給推計

本県の地域枠等の医師・学生数の推計

地域枠・地元出身者枠の必要数と設定方針

(4) その他の施策

勤務環境改善支援

寄附講座の設置 など

5. 産科の医師確保

(1) 産科医師偏在指標

(2) 相対的医師少数都道府県，相対的医師少数区域（周産期医療圏），偏在対策基準医師数

(3) 医師確保の方針と施策（県，周産期医療圏）

6. 小児科の医師確保

(1) 小児科医師偏在指標

(2) 相対的医師少数都道府県，相対的医師少数区域（小児医療圏），偏在対策基準医師数

(3) 医師確保の方針と施策（県，小児医療圏）

7. 計画の推進体制の各関係機関の役割

(1) 推進体制

茨城県地域医療対策協議会，茨城県地域医療支援センター

茨城県医療審議会

地域医療構想調整会議

(2) 各関係者等の役割

県

・県の施策体系と事業

筑波大学

医療機関・医療関係者